

# 土地利用

## 都留市土地利用計画図

### 土地利用の目標

自然に恵まれた山紫水明の郷土を守り、自然保護を第一に、生活環境と生産基盤の整備を計り、将来5万都市として理想的な地域開発に役立てるよう総合的な土地利用計画を策定する必要がある。

### 土地利用の現況

首都へ1時間30分と比較的恵まれた位置にありながら山岳的地形のため開発が遅れていたが、近時首都圏の拡大にともない、道路整備と交通機関の発達にあいまって工場の進出がさかんととなり、一方では余暇のレジャー施設のためのゴルフ場等に大規模な土地利用が計られている。現状では、農用地 1,170 h a、宅地等289 h a、山林原野13,570 h a、その他 1,168 h a（田342 h a、畑 238 h a、樹園 339 h a）を農用地振興地域に指定している。開発が残されている84%の山林原野が宅地造成、ゴルフ場等に約 325 h a（2.4%に相当）を民間資本で開発が進められている。

また、都市計画の用途地域指定も国道を軸に 183 h a を予定し、計画の具体化を急いでいる。

### 土地利用の計画

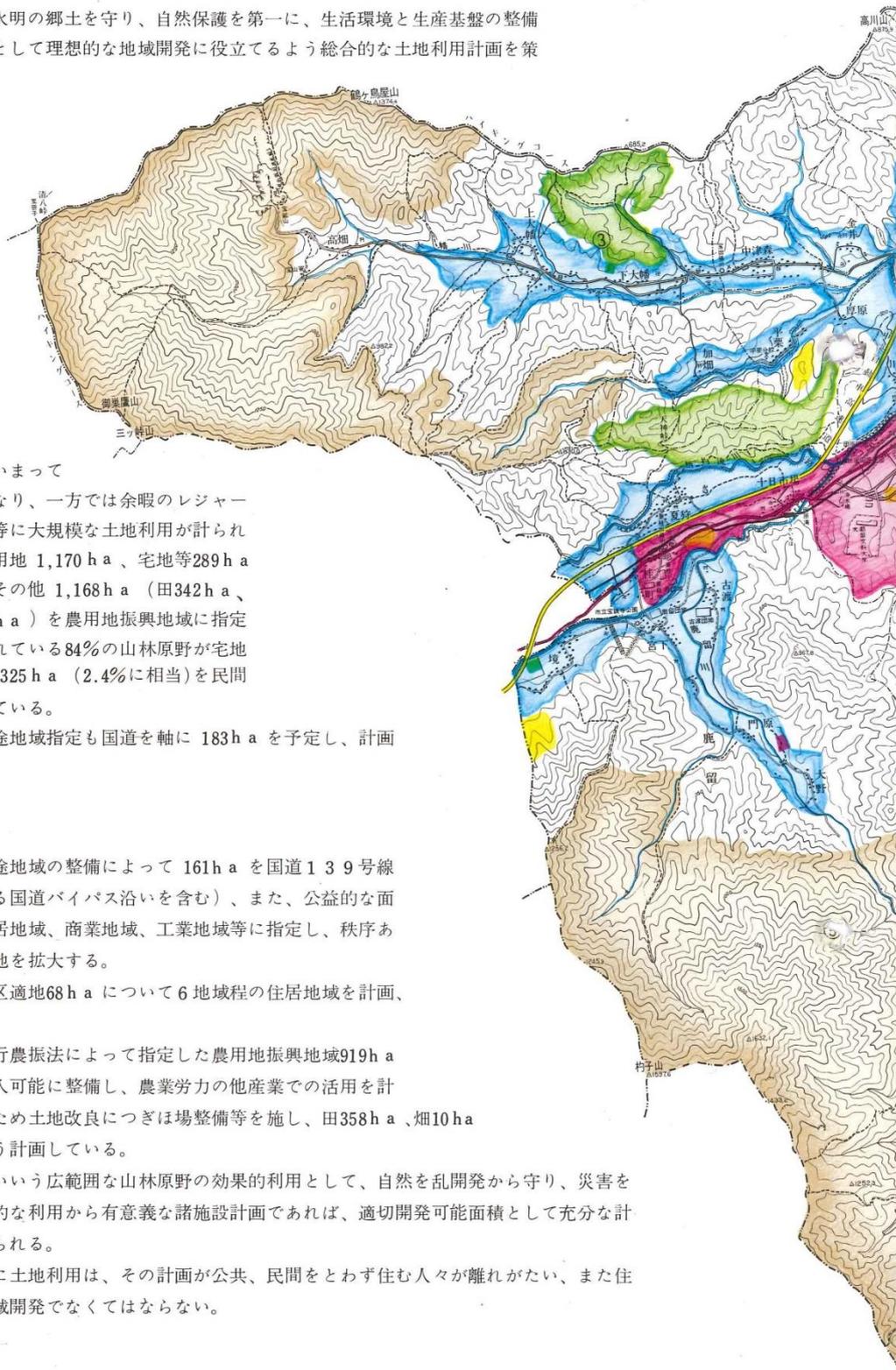
新たに都市計画の用途地域の整備によって 161 h a を国道139号線沿いに（予定されている国道バイパス沿いを含む）、また、公益的な面から各地に22 h a を住居地域、商業地域、工業地域等に指定し、秩序ある5万都市の中心市街地を拡大する。

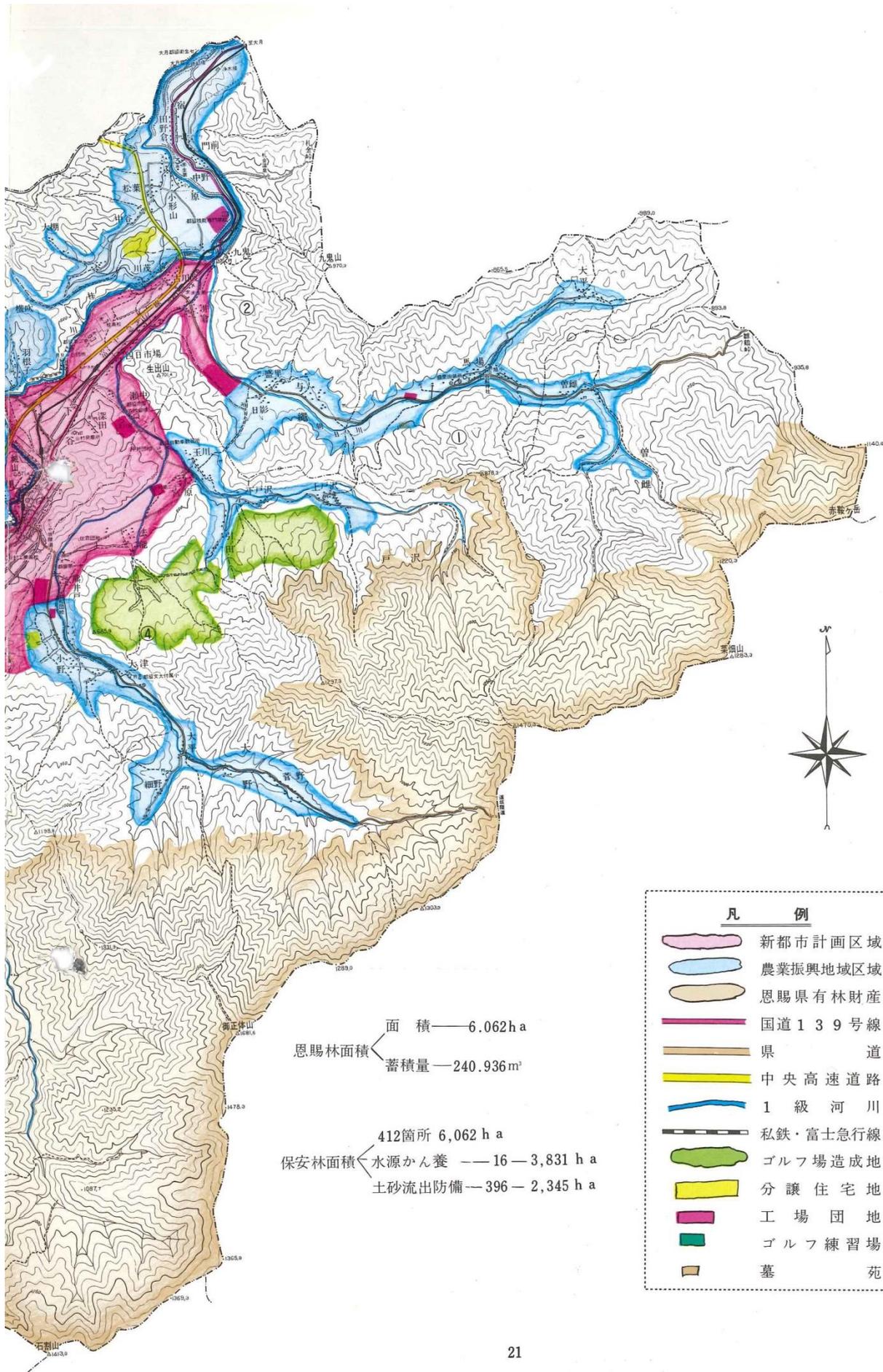
なお、集落的に各地区適地68 h a について6地域程の住居地域を計画、整備する。

農用地にあっては現行農振法によって指定した農用地振興地域919 h a を近代的に機械化の導入可能に整備し、農業労力の他産業での活用を計り、農家所得の向上のため土地改良につきは場整備等を施し、田358 h a、畑10 h a、樹園 339 h a とするよう計画している。

また、全土の84%という広範囲な山林原野の効果的利用として、自然を乱開発から守り、災害を防ぎ、公害のない効率的な利用から有意義な諸施設計画であれば、適切開発可能面積として十分な計画実施ができると考えられる。

しかしながら総合的に土地利用は、その計画が公共、民間をとわず住む人々が離れがたい、また住んでみたいと欲する地域開発でなくてはならない。





恩賜林面積 ← 面積 — 6,062 ha  
蓄積量 — 240,936 m<sup>3</sup>

保安林面積 ← 412箇所 6,062 ha  
水源かん養 — 16 — 3,831 ha  
土砂流出防備 — 396 — 2,345 ha

凡 例	
	新都市計画区域
	農業振興地域区域
	恩賜県有林財産
	国道139号線
	県 道
	中央高速道路
	1 級 河 川
	私鉄・富士急行線
	ゴルフ場造成地
	分譲住宅地
	工場団地
	ゴルフ練習場
	墓 苑

# 商 業

## 商業の概況

近年のモーターゼーションの発達とともに消費者の購買圏域が拡大され、富士吉田、大月両市に大型スーパーマーケット等の進出する中で、中間的存在である本市の商業については、年々経済の成長にあいまって進展しております。

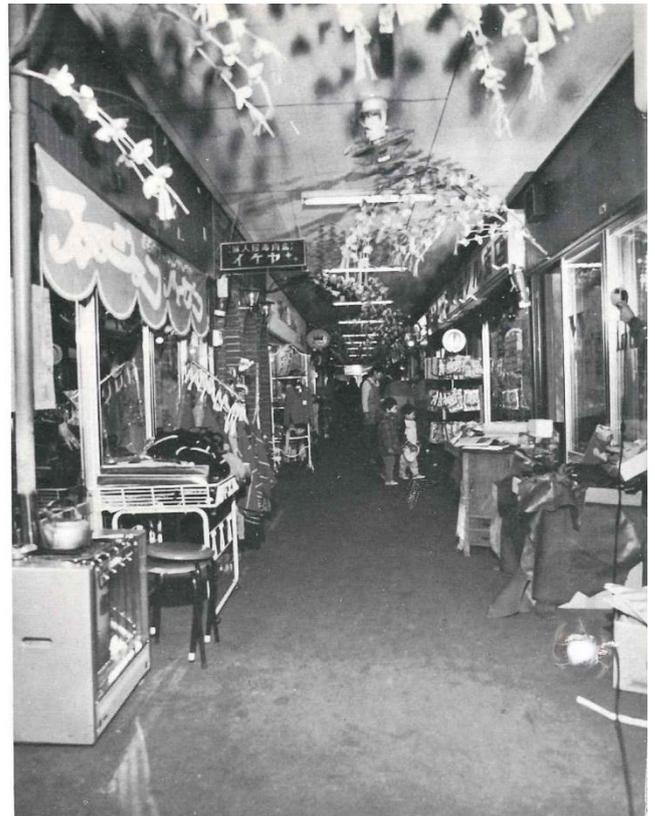
昭和48年10月に実施した商店街診断の消費者購買状況は次のとおりであります。

市民一人当りの消費購買力

昭和45年 212,000円 → 昭和47年 274,000円

都留市全体の消費購買力

昭和45年 662,067万円 → 昭和47年 870,073万円



## 商店数・従業者数・年間販売額の推移

年次	卸 売 業 ・ 小 売 業			飲 食 店		
	商 店 数	従 業 者 数	年間商品販売額	商 店 数	従 業 者 数	年間商品販売額
	店	人	万円			
41	532	1,493	633,859	78	199	11,619
43	540	1,476	622,268	101	263	20,006
45	577	1,556	947,968	126	297	34,203
47	609	1,684	1,208,470	125	272	37,155

買い物をしている写真

# 農 業

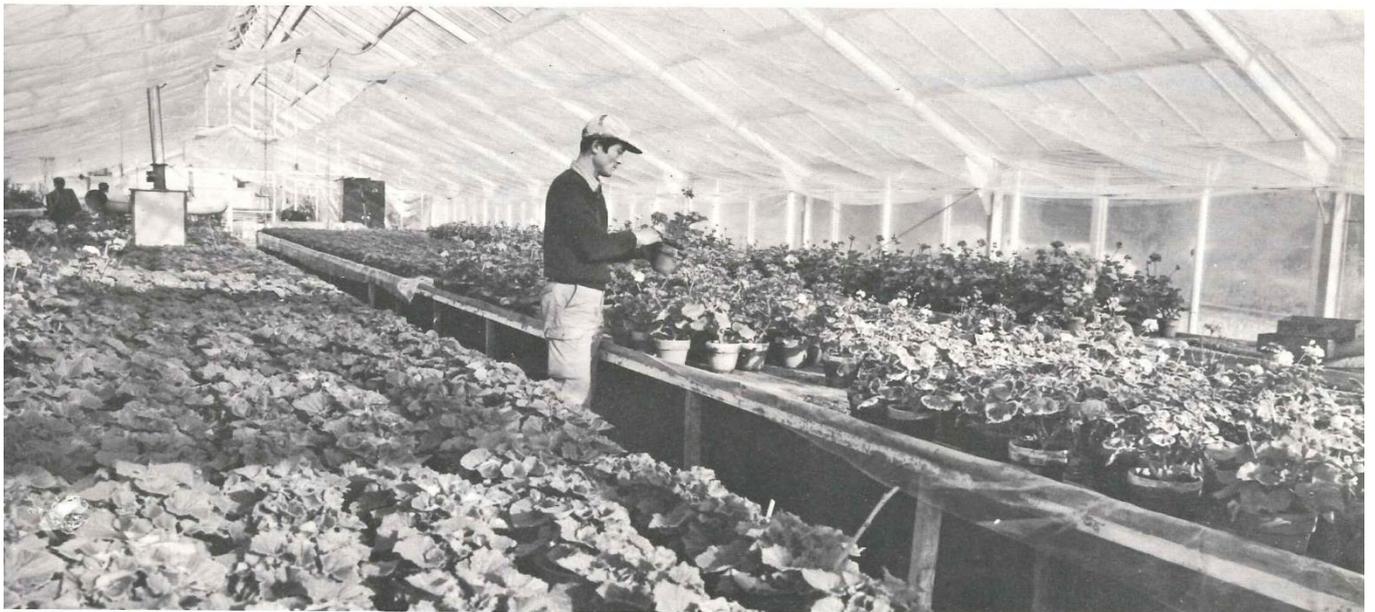
## 農業の概況

市内の農業生産の主体は米と養蚕であり、これに野菜または酪農養豚、ブロイラー等の複合経営があり、生産量については養蚕はほぼ平衡的で昭和35年に223t、昭和45年にはこの88%の202tとなり、米は生産調整が加ったので昭和35年の2,478tに対し、昭和45年には79%の1,957tに減少しているが、この転作として夏きゅうり、レタス、人参等出荷野菜が普及している。農業就業者は昭和35年の2,824人が昭和45年には3,248人となったが、老、婦人化している。農家戸数は2,831戸からその86%の2,441戸に減少している。また経営面積が狭いため古くから発達している家内工業的な機業及び進出企業との兼業が大多数を占めている。一戸当り平均耕地面積は水田23a普通畑10a、桑園15aの零細である。

昭和48年には農業振興地域を指定し、49年からモデル事業によって農業生産基盤等の整備を行い、農業の近代化を計っていく。

## 農業生産の推移

作目名	昭和40年		昭和45年	
	作付面積	生産量	作付面積	生産量
水 稲	513ha	2,155t	466ha	1,957t
養 蚕	292ha	235t	322ha	202t
ブロイラー	18,182羽	29t	45,477羽	73t
乳 牛	113頭	520t	56頭	258t
肉 豚	673頭	44t	372頭	24t



## 農家数・経営耕地面積

昭和45年2月1日現在

区 分	農 家 数	農家世帯 員 数	専・兼業別農家数			経 営 耕 地 面 積			
			専 業	農業が主	兼業が主	総面積	田	畑	樹園地
	戸	人	戸	戸	戸	ha	ha	ha	ha
総 数	2,441	12,462	84	300	2,057	994	504	242	248
谷 村	682	3,563	17	80	585	288	144	76	68
東 桂	610	3,063	16	59	535	204	124	53	27
禾 生	504	2,502	24	96	384	214	113	31	70
宝	378	1,983	14	9	355	155	77	48	30
盛 里	267	1,351	13	56	198	133	46	34	53

農家数および農業就業人口の推移

農 家 数												農 業 就 業 人 口		
昭 和 35 年				昭 和 40 年				昭 和 45 年				昭 和 35 年	昭 和 40 年	昭 和 45 年
専 業	1 兼	2 兼	計	専 業	1 兼	2 兼	計	専 業	1 兼	2 兼	計			
344戸	1,257	1,230	2,831	237	776	1,600	2,613	84	300	2,057	2,441	2,824人	3,781	3,248
12%	45	43	100	9	30	61	100	3	12	85	100	100指数	134	115

耕地面積の広狭別農家数(45年センサス)

例外規定農家	2
30a未満	1,006
30a～50a	689
50a～70a	391
70a～1ha	253
1ha～1.5ha	86
1.5ha～2ha	9
2ha～2.5ha	2
2.5ha～3ha	2
3ha～5ha	1
計	2,441

農産物販売金額階級別農家数(45年センサス)

総農家数	2,441
販売なし	1,151
5万円未満	209
5～20万円	652
20～50万円	321
50～70万円	67
70～100万円	23
100～150万円	10
150～200万円	4
200～300万円	2
300～500万円	1
500万円以上	1

農産物販売額一位の部門別農家数(45年センサス)

いね	378
麦類	1
ばれいしょ、豆等雑穀等	3
工芸作物類	11
施設園芸	2
野菜類	45
果樹類	34
その他作物	7
酪農	4
養豚	6
養鶏	23
その他畜産	1
養蚕	775
計	1,290

家畜、養蚕家さん頭羽数(45年センサス)

乳用牛	
2歳未満	15頭
2歳以上	41
役肉用牛	2
馬	11
豚	372
めん羊	1
山羊	23
にわとり(採卵鶏)	
6ヶ月未満	1,495羽
6ヶ月以上	9,832
ブロイラー	34,150
養蚕掃立卵量	5,150箱

農用機械所有台数(45年センサス)

動力耕うん機農用トラクター		田植機	1
5馬力未満	94	稲麦用動力刈取機	20
5馬力以上	229	米麦用乾燥機	13
動力噴霧機	51	農用トラックオート三輪車	147
動力散粉機	18	ミルカー	2

養 蚕 (45年センサス)

桑園面積	養蚕戸数	掃 立 量		産 繭 高		計
		春 蚕	夏 秋 蚕	春 蚕	夏 秋 蚕	
238ha	879戸	2,439箱	3,057箱	91,189kg	112,510kg	203,699kg

# 金融

## ●市内金融機関

総数	普通銀行	信用金庫	信用組合	郵便局	農協
15	1	1	2	8	3

## 金融機関窓口の写真



### 銀行、信用金庫、信用組合の預金、貸出金の推移

毎年12月末現在（単位万円）

年次	預 金					
	総額	当座	普通	定期	掛金	その他
40	346,323	10,296	75,059	221,154	28,331	11,483
41	395,539	15,884	90,676	241,629	35,142	12,208
42	473,769	22,494	106,499	290,090	40,785	13,901
43	531,586	18,653	116,091	330,422	47,240	19,180
44	629,440	29,643	139,701	372,614	58,022	29,460
45	717,922	30,130	153,374	435,708	65,040	33,670
46	901,277	34,101	183,922	552,072	73,511	57,671
47	1,182,127	61,278	274,389	698,457	84,484	63,510
48	1,498,669	87,473	346,740	908,005	87,077	69,374

### 農業協同組合の預金貸出金の推移

毎年12月末現在 単位万円

年次	預 金				
	総額	普通	定期	掛金	その他
40	16,560	6,557	8,942	1,047	14
41	23,005	9,091	11,578	2,155	181
42	38,335	14,296	20,696	3,334	9
43	43,462	13,795	25,961	3,681	25
44	49,417	15,990	29,826	3,564	37
45	59,783	18,534	36,564	4,578	107
46	72,016	22,135	44,679	4,948	254
47	99,230	31,197	62,117	5,506	410
48	129,175	41,307	78,753	8,438	677

### 貸 出 金

年次	総額	手形貸付	証書貸付	当座貸付	割引貸付
40	258,866	126,264	5,395	648	126,559
41	313,643	135,809	13,020	548	164,266
42	370,820	153,330	29,378	552	187,560
43	429,933	171,257	42,582	737	215,357
44	495,226	203,062	50,334	825	241,005
45	572,323	212,217	62,693	1,465	295,948
46	684,026	297,905	81,147	1,523	303,451
47	784,190	310,278	155,591	1,156	317,165
48	1,012,052	349,077	254,306	1,702	406,967

### 貸 出 金

年次	総額	手形貸付	証書貸付	その他
40	4,108	3,362	662	84
41	6,351	5,140	1,132	79
42	9,858	6,193	2,170	1,495
43	15,591	9,357	4,287	1,947
44	18,384	10,409	6,261	1,714
45	24,078	12,739	9,791	1,548
46	28,210	13,856	12,623	1,731
47	35,055	18,014	14,756	2,285
48	41,916	20,084	17,564	4,268